

北海道置戸高等学校 PTAだより

日頃より置戸高校PTA活動に、ご理解とご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

さて、今年はコロナの影響ですでに前期を終えましたが、長い期間の自粛生活で、たくさん行事がなくなりました。新入生は、新しい高校生活が始まり楽しみにしていた事もたくさんあったでしょう。二年生も後輩が入ってきて楽しみにしていた事でもかかわらず無くなってしまいましたね。人間ばら馬の三連覇も楽しみにしていたし、最後の学校祭よさこい演舞も見えなかったです。そして、最後の高体連もなくなりました。残念でした。

しかし、こうして長い間子どもが自宅で過ごす機会もなかなかありませんでした。自宅でもたくさん課題に取り組み頑張っている姿を目の当たりにしたり、たくさん学校での話を聞いたり、たくさん将来の目標について話をしたり、とても充実した日々でもありました。

後期では、実習がなくなったりまだまだコロナの影響もありますが、それぞれの目標に向けて一日一日を大切に頑張ってください。特に、三年生は進路決定と一月の国家試験に向けて忙しい日々になる事と思いますが、今までの努力してきたことを自信に変えて最後の最後まで悔いの残らない高校生活を送ってください。その姿は必ず、後輩の皆さんの手本となっている事と思います。

そして、来春には生徒の皆さん、先生、保護者の皆さまが笑顔で卒業式を迎えられますように、今後とも皆さまのご指導、ご理解をよろしくお願いいたします。

「前期を終えて」

PTA会長 岡田 誠

PTA会員の皆様には、平素より本校の教育活動に對しまして、深いご理解と温かいご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

4月に新たな学校生活がスタートしたのも束の間、再び、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校を余儀なくされました。6月から学校は再開しましたが、福祉科の高校からクラスターを発生させてはならないと、3密回避、消毒の徹底など、全教職員が必死になって、感染拡大防止に努めました。子ども達の衛生管理面での高い意識や保護者の皆様のご協力のお陰で、現在、大過なく学校生活を送ることができております。ただ、ウイルスは目に見えず、どこに潜んでいるか不明です。今後、たとえば、感染事例が身近に出たとしても、偏見・差別が生じないようにしていくことが必要と考えております。

さて、このコロナ禍にあつて、学校での様々な活動が制約される中、これまでの常識や行動様式を大きく見直すことが求められています。本校では、これまで学んだ知識や技能を活用する場として、毎年、子ども達は、校外での介護実習に取り組みしておりますが、本年度は、すべて校内での実習や演習で代替しております。その代わりに、地元置戸町や医療・福祉関係施設等の外部の教育力を活用させていただきます。高年齢を含め誰にでも使いやすい木工器具の製作について考える、オケクラブ製作に携わる方達とのものづくりの交流、災害時の介護福祉の在り方について考える、自衛隊と連携した実習など、その他にも柔軟な発想で福祉をさらに幅広い視点で捉え、新たな魅力作りにつながることを期待しながら取り組んでおります。

これからは、現状を嘆くのではなく、今を生き抜く知恵と発想を持って、新たな価値を生み出していく姿勢で臨むことが必要だと思います。来年度は、本校の創立70周年を迎える年となります。節目の年に向けて新たな置戸高校の未来の礎を築けるよう取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後共、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

「新たな価値を生み出していく姿勢で」

校長 小森 章史

入学式



土曜講習



祝!



第8回北海道高等学校長協会家庭部意見・体験発表大会最優秀賞受賞
2年 A・K さん

置高生 毎日頑張っています

合格祈願



博愛祭花火大会



全国模試



成績通知表の見方について

教務部長 大野 祥宏

本校では前期末と学年末に5段階の評価・評定で成績を出しております。考査の結果だけではなく、授業や実習での意欲、態度なども総合的に成績に反映されています。成績通知表を通じ学習状況や諸活動、出欠の状況等をお知らせすることで、学校と家庭が協力してお子様の成長を促していけたらと考えております。将来の目標に向け、今後、どのように学習に取り組んでいくべきかをご家庭で話し合うための資料としてご活用ください。

2020年度置戸高校PTA役員

役職	氏名	備考
会長	岡田 誠	3年生
副会長	松井 直彦	3年生
	川岸 亜寿香	2年生
監事・監査	中村 恵美	1年生
学年代表(1年)	井関 潤一	1年生
学年代表(2年)	村上 和	2年生
学年代表(3年)	青山 岳雄	3年生
顧問	石井 伸二	元会長
	小森 章史	校長
事務局長	村上 謙二	教頭
校内理事	佐藤 由香里	教諭
	大森 涼太	教諭
会計	納藤 博章	事務長

今年度のPTA役員の皆さんです。どうぞよろしくお願いいたします。

PTA事務局より

今年度はコロナ感染拡大防止対策のため、4月の授業参観、PTA総会、7月の学校祭も、9月に予定していたPTA研修会も中止となってしまいました。全道各地から集まる置高生たち。PTA会員の皆さんがそろそろ機会がなかなかとれないのが残念です。ホームページ、Facebook、Instagramで生徒達の頑張る姿、活躍の様子をたくさんお知らせしています。ぜひ、ご覧ください。

いいねやフォローお願いします!

ホームページ

Facebook

Instagram



OKETO.HIGHSCHOOL

置戸高校で介護福祉士の資格を取る。それは周りとは全く違う選択であり友達の居ない遠い地での不安もあるだろう進学。それは親の自分からすると不安や心配の方が多いように思えるが、置戸高校に決めた生徒達はそれ以上介護福祉士の資格を取るといふ事にしっかりと自分の将来を描き、中三、十五歳という若人にして孤独、困難、試練に一人で飛び込む素晴らしい勇氣と根性を持っている。それを思うと尊敬さえしてしまいます。

これからの学校生活では同じ志を持った先輩方や同級生、それを束ねる先生方の素晴らしい人達と過ごす三年間で勇氣と根性、そして周りを思いやる心や愛情など色々な事を学んでもらいたい。介護福祉士の資格を取るためには苦勞と困難が多々あると思うが卒業する頃には入学した時よりも、もっと素敵に輝くオンリーワンになれることを願っています。そして、どんなに辛くても笑顔を忘れない素敵な三年間を過ごしてほしいです。

「置戸高校に入学して」
1年 T・H



福祉に携わる仕事に就きたいという思いから、置戸高校に入学し、早くも半年が経ちました。親元を離れての学校・寮生活は、初めは不安や緊張の毎日でしたが、級友や先輩方に恵まれ、少しずつ慣れてきました。

その中で、私はこの学校に入学して良かったと感じていることがあります。それは、学校・寮生活を通して、学ぶ楽しさを知れたことや両親への感謝の気持ちが増したことです。自ら興味や関心を持って学習に取り組むと意欲的に学習に取り組めることを知りました。また寮生活を通して、今までどれほど両親に頼って生活してきたのかを実感しているところです。

私の将来の為、そして私を応援してくれている両親の為にも、これからも努力を重ねていきたいと思ひます。

「2年生になって頑張っていること」
2年 M・K

私は介護福祉士を目指すために日々、勉強をしています。2年生になってから本格的に始まった校内実習では、おむつ交換や寝衣交換など個人ではもちろんのこと、クラス一丸となって努力しています。

校内実習で私が意識して頑張っていることは、先生方のアドバイスや指導を受けたときに、いち早くメモを取ることです。自分で書いたメモを見ることで耳で聞いただけでは忘れてしまうことや、その時理解できなかったことも後で見直すことによって、頭で考え、行動できるからです。それに、一つでも多くメモを残すことによって、クラスで共有したときに次の授業で活かすことができます。

2年生の大きな目標となる許可テストに向けて、今後もより一層努力していきたいと思ひます。



「置戸高校へ進学した皆さんへ」
一学年PTA 井関潤一

置戸高校で介護福祉士の資格を取る。それは周りとは全く違う選択であり友達の居ない遠い地での不安もあるだろう進学。それは親の自分からすると不安や心配の方が多いように思えるが、置戸高校に決めた生徒達はそれ以上介護福祉士の資格を取るといふ事にしっかりと自分の将来を描き、中三、十五歳という若人にして孤独、困難、試練に一人で飛び込む素晴らしい勇氣と根性を持っている。それを思うと尊敬さえしてしまいます。

進路実現に向けて 進路指導主事 水谷 愛

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、本校での介護実習は全学年中止となりました。本来であれば、34日間の介護実習の中で介護のやりがい、大変さ、働くとはなど多くのことを学びながら自分の進むべき道を模索し、進路決定につなげていくはずでした。今年度は、その機会を失ってしまい進路決定に少なからず影響を及ぼしたと感じます。

しかし、そのような状況の中で、進路決定に向け自ら動き出した3年生にはたくましさを感じました。「この施設を見てみたい」、「話を聞いてみたい」など自ら動き出し、進学を希望する生徒も、コロナ対策を徹底してオープンキャンパスに参加するなど、通常通りの進路活動が難しい中、自分の夢を実現できる場所、頑張れる場所、力を発揮できる場所を一生懸命探していました。

どんな状況でも頑張れる、自分のやるべきことを見失わずに動くことができる、今できることは何かを考えることができる。3年生が身につけた強さをこれからの学校生活、国家試験合格に向けた勉強、そして、高校を卒業してからのそれぞれの道で発揮できる人であって欲しいと願っています。

「進路実現に向けて」
3年 F・M

今、私たち3年生は、進路や介護福祉士の国家試験に向けて勉強しています。進路の活動では、就職組は履歴書の作成を、進学組は提出する願書の記入などを行ったりしています。また、各自行われる予定の面接に向けて、質問項目について内容を考えたり面接練習を始めたりしているところです。3年生は仲の良いクラスなので、日常的に分からないところを聞きあいながら、みんなで協力しあっています。

国家試験に向けての取り組みでは、秋講習があり、模試を解き、解説をし続けています。3年生全員が国家試験まで勉強が続く辛い日々を送ることは自覚していると思ひます。今までの2年半、校内実習や許可テスト、1、2年生での介護実習など多くの壁を乗り越えてきた3年生なので、それを自信にして取り組み、絶対に全員で介護福祉士国家試験に合格して、笑って卒業したいです。



薬物乱用非行防止教室、命の大切さを学ぶ教室、交通安全教室を終えて

生徒指導部長 居内 映莉子

今年度は感染予防対策のため、4月に実施を予定していた上記の教室を延期し、9月の実施となりました。北見警察署様や野付牛自動車学校様より講師の先生をお招きして講話をしていただきました。

どの教室にも、共通して「命」について考えました。人生には、予想ができないことや、思いもよらないことに遭遇する可能性があります。事件、事故に巻き込まれる、または巻き込んでしまうこともあるかもしれません。そのようなことにならないよう、日々の生活で様々なことに興味を持つことや、自分自身のあり方や命の大切さ学ぶことができたと思ひます。今後も自分自身を大切に、自分以外の人を大切にできる置戸高校生でいてほしいと思ひます。

